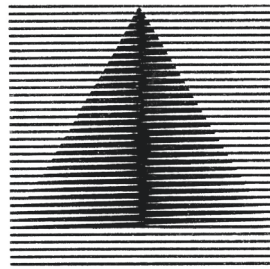


教育実践総合センター

# 研 究 紀 要

第 55 号



2023年

山 口 大 学 教 育 学 部  
附 属 教 育 実 践 総 合 セ ン タ ー

# 目 次

## 教師教育研究

教育学部学生による「科学の祭典」に関する一考察（その2）

－山口大学教育学部小学校総合選修において－

佐伯 英人・青山 翔・岡村 吉永 …… 1

コロナ禍における大学生の生活習慣や暮らし方の変化と高等学校家庭科の学習状況との関連

西尾幸一郎 …… 11

保健体育教師志望大学生の相互作用行動の省察力の検討

斉藤 雅記 …… 19

より確かで実りある教育実習のために

～山口大学教育学部附属学校の教育実習の改善に向けて～

吉田 貴富 …… 27

## 学校教育臨床研究

教員のメンタルヘルスとその支援に関する文献的研究

春日 由美 …… 33

青年期自閉スペクトラム症（ASD）当事者におけるバイタルサイン計測の試みと展望

田中亜矢巳・木谷 秀勝・岩男 英美・松岡 勝彦 …… 43

青年期ASD女性の自助グループ活動に関する実践報告

合宿方式での活動を通して

木谷 秀勝・岩男 英美・田中亜矢巳・土橋 悠加・飯田 潤子

豊丹生啓子・原田 奈保・松岡明日香・藤井 寛子・櫻井 凜 …… 51

## 教育実践研究

総合的な学習の時間における協働の質をとらえる視点の活用

藤上 真弓 …… 57

算数科における「つまずき」に着目した授業づくり研究

山本 拓実・間口 優紀・藤上 真弓 …… 67

インドネシアにおける芸術教育と文化形成について

－前期中等教育を中心として－

福田 隆真・石井 由理 …… 77

教職大学院の学校実習に関する一考察

－実施方法・内容の改善を中心に－

松田 靖・佐々木 司・岡田 淳子 …… 87

学校・地域連携カリキュラムを通じた小中一貫教育の推進

－地域とともにある室積学園をめざして－

宮内 朋子・松田 靖 …… 97

学校実習の在り方に関する組織的検討

－修了院生等への調査を踏まえた熟議を通して－

坂本 哲彦・静屋 智・霜川 正幸・時乗順一郎 …… 107

価値と価値観に関する考察

～美術科の鑑賞と特別の教科 道徳における取組～

足立 直之 …… 117

特別支援学校を軸とした持続可能な循環型教材の開発と運用

岡村 吉永・宮本 清美・松村 大樹・尾湯 正行・藤岡 直樹 …… 127

簡便で即座に編集可能なビデオ・ツールを用いた特別支援学校小学部のPDD児に対する

行動コンサルテーション

－教室への入室をしぶる行動に焦点を当てて－

上杉 瞳・須藤 邦彦 …… 133

保育の研修と保育実践

－こども理解を体験的に考えることから－

川崎 徳子 …… 141

「平和」について考える授業づくり

－学部1年次の演習授業における実践事例－

松原 幸恵 …… 151

「地域」に強い教員養成に向けた取組み

共通教育科目『基礎セミナー』を通じた社会科教育を中心に

楮原 京子・山本 孟・松原 幸恵・森下 徹・佐野 之人 …… 159

Bulletin of the Integrated Center for Education Research and Training  
2023.3  
CONTENTS

Teacher Education Research

- Evaluation of Science Festival by Pre-Service Teachers (II):  
Educational practices in the elementary school education course at Yamaguchi University  
SAIKI Hideto, AOYAMA Sho, OKAMURA Yoshihisa ..... 1
- A Study of the Relation between Lifestyle Changes of University Students During the COVID-19 Outbreak  
and Home Economics Education  
NISHIO Koichiro ..... 11
- Reflection teacher's interactive activities for preservice health and physical education teachers  
SAITO Masaki ..... 19
- For a more solid and fruitful teaching practice:  
For improving teaching practice at the schools attached to the faculty of education, Yamaguchi University  
YOSHIDA Takatomi ..... 27

School Education Clinical Research

- A Review of Studies on Teachers' Mental Health and their Support  
KASUGA Yumi ..... 33
- Attempts and Prospects of vital signs measurement for Autism Spectrum Disorder at Adolescence  
TANAKA Ayami, KIYA Hidekatsu, IWAO Fumi, MATSUOKA Katsuhiko ..... 43
- Practical Report of Self-Help Group Activity with Female Autism Spectrum Disorder at Adolescence:  
Result of camp activity  
KIYA Hidekatsu, IWAO Fumi, TANAKA Ayami, TSUCHIHASHI Yuka, IIDA Junko,  
BUNYU Keiko, HARADA Naho, MATSUOKA Asuka, FUJII Hiroko, SAKURAI Rin ..... 51

Educational Practice Research

- The Use of Perspectives that Capture the Quality of "Collaboration" in the Period for Integrated Studies  
FUJIKAMI Mayumi ..... 57
- Research on Class Development Focusing on "Stumbling" in Arithmetic  
YAMAMOTO Takumi, MAGUCHI Yuki, FUJIKAMI Mayumi ..... 67

Arts Education and the Formation of Culture in Indonesia: Focusing on Lower Secondary Education	FUKUDA Takamasa, ISHII Yuri	77
A Study of the Field-based School Management Practicum in a Professional Development School: Focusing upon the Improvement in its Implementation Methods and Contents	MATSUDA Yasushi, SASAKI Tsukasa, OKADA Atsuko	87
Promotion of integrated elementary and junior high school education through school/regional collaboration curriculum: Aiming to be a Murodumi Gakuen that coexists with the community	MIYAUCHI Tomoko, MATSUDA Yasushi	97
An Investigation into the Field-based School Management Practicum: Perspectives for Organizational Inquiry Derived from the Recognition Survey and Interview to the Former Graduate Students and Their Related Personnel	SAKAMOTO Tetsuhiko, SHIZUYA Satoru, SHIMOKAWA Masayuki, TOKINORI Junichiro	107
Reflections on Value and Values: Practice of Appreciation in Fine Arts and Special Subject Morals	ADACHI Naoyuki	117
Development and Operation of Sustainable Recycling Teaching Materials Centered on Special Needs Schools	OKAMURA Yoshihisa, MIYAMOTO Kiyomi, MATSUMURA Daiki, OGATA Masayuki, FUJIOKA Naoki	127
Practice of behavioral consultation for a child with pervasive developmental disorder in the elementary school section at a special needs school using easy and instant editable video tools: Focusing on reluctance to enter the classroom	UESUGI Hitomi, SUTO Kunihiko	133
Childcare Training and Childcare Practicums: Thinking about How to Understand Children through First-hand Experience	KAWASAKI Tokuko	141
Creating classes to think about “peace”: Practical examples in seminar classes for first-year undergraduate students	MATSUBARA Yukie	151
Initiatives to train teachers to see the local issues: Focusing on Social Studies Education through the General Education “Introductory Seminar”	KAGOHARA Kyoko, YAMAMOTO Hajime, MATSUBARA Yukie, MORISHITA Toru, SANO Yukihito	159

## 教育実践総合センター研究紀要 編集規程

### 1. 研究紀要の刊行

- (1) 山口大学教育学部附属教育実践総合センター（以下「センター」と記す）は、研究紀要を原則として年度につき2回刊行する。
- (2) 研究紀要の名称は「山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要」とする。
- (3) 研究紀要は、教育実践に関する未公刊の論文で構成し、下半期の刊行においては当該年度の「センター」の活動内容を報告する年報を加える。

### 2. 編集委員会

- (1) 研究紀要の編集は、編集委員会を設置して行う。
- (2) 編集委員会は、山口大学教育学部附属教育実践総合センター運営委員会規則第3条第1号、同第2号、同第3号の委員をもって構成し、センター長を委員長とする。
- (3) 編集委員会は、原稿の募集、掲載論文の採択、研究紀要の構成、研究紀要の体裁等に係る判断を行う。
- (4) 編集委員会は、掲載論文の採択に係る審査を行うにあたり、投稿者に対し、投稿原稿の一部修正を求めることができる。

### 3. 投稿資格

- (1) 研究紀要に投稿することができる者は、下記の各項の該当者とする。ただし、第3項および第4項の場合については、第1項または第2項の者を共著者とするを条件とする。
  - ①山口大学教育学部および附属学校の教員
  - ②センターの客員教授、客員准教授、研究員
  - ③山口大学大学院教育学研究科の大学院生
  - ④編集委員会が特に認めた者
- (2) 研究紀要1号あたりの投稿数は、筆頭者としては1名2論文までとする。

### 4. 経費負担

- (1) 研究紀要の発行に係る経費は、センターの運営費をもって充てる。ただし、執筆要項に示すページ数を越える場合、図版、写真等の掲載で別に経費を要する場合は、執筆者の実費負担とする。
- (2) 別刷は、執筆者の実費負担とする。

### 5. 著作権

- (1) 研究紀要に掲載された論文の複製権、公衆送信権は、山口大学教育学部に帰属する。ただし執筆者（共著の場合は筆頭者）の申し出により、公衆送信権を行使しないことができる。
- (2) 前号の規定は、執筆者自身による複製、公衆送信等を妨げない。
- (3) 論文執筆における他の著作物との関係への対処は、執筆者が責任を負う。執筆者は著作権その他倫理規範に反する問題が生じないように十分に配慮しなければならない。

### 6. その他

- (1) 各論文の投稿原稿は、別に定める執筆要項にしたがって作成するものとする。
- (2) 執筆者による校正は、初稿までとする。
- (3) 研究紀要の刊行に関する事務は、教育学部事務部において処理する。

## 教育実践総合センター研究紀要 執筆要項

1. 原稿は、原則として文書作成PCソフトで作成し、印字した原稿に文書ファイルを保存した記録メディア（CD等）を付けて提出する。
2. 原稿の基本書式は、A4サイズで横書き、用紙余白は上下左右すべて20mm、MS明朝体10ポイントで横48字×縦48行とする。
3. 原稿の枚数は、本文、標題、要旨、図版、注等すべてを含め、原則10ページまでとする。
4. 原稿の記載順序は、最初のページに、題目、執筆者名、英文題目、英文執筆者名、キーワード（5つ以内）を記載し、次に本文、その後に注・参考文献とする。ABSTRACTを記述する場合は、原稿の最末尾とする。
5. 本文の見出しは、以下の階層で表すものとする。

階層1	1.	2.	3.	(11ポイント MSゴシック体 上下の行をそれぞれ1行あけ)
階層2	1-1	1-2	1-3	(10ポイント MSゴシック体 上の行のみ1行あけ)
階層3	1-1-1	1-1-2		(10ポイント MSゴシック体)
6. 注・参考文献は本文の最後一括して記載する。その記述様式は各論文の関連する専門分野の様式に従うものとし、著者名、文献タイトル、発行所、発行年を必ず含むものとする。
7. 図・表・写真等は本文の内容と関連したページに掲載し、通し番号と表題を示す。提出にあたってはそのまま製版できるように作成するものとする。
8. 他の著作物の図表や文章等から、引用の範囲を超える転載を行う場合は、著者自身の責任で書面による転載許諾を得るものとする。
9. 人物の顔で個人が特定可能な写真を掲載する場合は、著者自身の責任で書面により関係者の掲載許諾を得るものとする。
10. その他
  - (1) 各号の原稿募集、原稿締切は、編集委員会の決定するところによる。
  - (2) 原稿を英文で作成する場合も、この要項を準用することを基本とする。

附属教育実践総合センター  
研究紀要編集委員会

委員長 木谷秀勝（センター長）  
委員 霜川正幸 鷹岡 亮 大丸奈緒美  
事務員 久保田尚子

著作権について

1. 本紀要の著作権は電子化を含めて、山口大学教育学部が担当する。
2. 各論文の利用は非営利目的に限る。利用にあたっては以下の点を守らねばならない。
  - I 引用する場合には著作者及び出典を明示すること。
  - II 著作権所有者（著作者）の許可なく標題及び内容を改変しないこと。
  - III その他著作権法の規定を遵守すること。

2023年3月15日 発行

山口大学教育学部附属教育実践総合センター  
研究紀要 第55号

編集者 山口大学教育学部  
附属教育実践総合センター研究紀要編集委員会  
発行者 〒753-8513 山口市大字吉田1677-1  
山口大学教育学部附属教育実践総合センター